

第73回  
スケート  
インターハイ

全国高校総体スケート・アイスホッケー選手権は21日、八戸市などで3競技が

行われた。アイスホッケーは青森県勢3チームが2回戦でそれぞれ北海道勢に屈し、8強入りはならなかった。スピードとフィギューアは同日で全日程を終えた。

アイスホッケーの八戸工は苫小牧中央と対戦。序盤は互角に渡り合ったが、徐々に引き離され、1-8で敗れた。工大

一は武修館に0-8と雪封され、昨年8月の全国高校選抜大会で敗れた雪辱を果たせなかった。八戸・八学光星は白樺学園に大敗を喫した。

スピードの県関係は、女子団体追い抜きで石岡文那(下長中出)が出場した山形中央が優勝。八戸西の男子は2000リレーが10位、団体追い抜きは9位だ

つた。

フィギューア女子の県勢で唯一、決勝のフリーに進んだ聖前梵乃華(工大)は総合12位だった。

22日はテクニカルアイスパーク八戸とフットアイスで、アイスホッケーの準々決勝と準決勝計6試合が行われる。

(取材班)



【2回戦・白樺学園-八戸・八学光星】第2ピリオド、ゴール前の守りを固める八戸・八学光星の選手たち(白のユニホーム)=フラット八戸

## 八戸・光星合同敗戦も充実感

〇…北海道勢の厚い壁にぶつか  
り、大量失点を喫した八戸・八学  
光星の合同チーム。敗れはしたが、  
田中敏則監督は「誰一人諦めず、  
最後まで戦う姿勢を見せてくれた  
生徒たちに感謝したい」とたたえ  
た。

八戸3年のGK橋本雄成は「公  
式戦で優勝候補と戦える機会をも  
らえたことがありがたい」と感謝  
を込めながら全力プレー。八戸3  
年でチームの主将を務めた樋口能  
乙は「(八戸高の)歴史ある部は  
休部になると思うが、アイスホッ  
ケーをやりたいと思う新入生が入  
ってほしい」と存続を願った。

「合同チームで多くのことを学  
べた」と話すのは、GKで先発し  
た八学光星3年の下館史真。「公  
式戦で念願の初勝利も手にするこ  
とができた。3年間頑張った良か  
った」と充実感をにじませた。

インターハイのアイスホッケー  
競技で初めて出場した合同チーム  
は、「全国1勝」という確かな爪  
跡を残し、戦いの幕を下ろした。

# 感謝込め全力プレー